

ラピアクタ点滴静注液バッグ 300mg ラピアクタ点滴静注液バイアル 150mg

【この薬は？】

販売名	ラピアクタ点滴静注液 バッグ 300 mg RAPIACTA Bag 300mg for Intravenous Drip Infusion	ラピアクタ点滴静注液 バイアル 150 mg RAPIACTA Vial 150mg for Intravenous Drip Infusion
一般名	ペラミビル水和物 Peramivir Hydrate	
含有量 (1袋中/1瓶中)	349.4mg (ペラミビルとして 300 mg)	174.7 mg (ペラミビルとして 150 mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗インフルエンザウイルス剤と呼ばれるグループに属する注射薬です。
- ・この薬は、A型およびB型インフルエンザウイルスの増殖を抑えることでインフルエンザの症状を緩和します。
- ・次の目的で処方されます。

A型又はB型インフルエンザウイルス感染症

- ・この薬の予防投与における有効性および安全性は確立していません。
- ・この薬は、C型インフルエンザウイルス感染症には効果がありません。

- ・この薬は、細菌感染症には効果がありません。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にラピアクタに含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・心臓や循環器系に障害のある人
 - ・高齢の人
- 抗インフルエンザウイルス薬の使用の有無または種類にかかわらず、インフルエンザにかかった時は、異常行動を発現した例が報告されています。異常行動による転落などの方が一の事故を防止するために、患者さんやご家族の方は以下の点について理解できるまで十分に説明を受けてください。
 - ・異常行動をおこすおそれがあります。また、転落などの事故に至るおそれのある重度の異常行動については、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いことが知られています。
 - ・自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者の方は転落などの事故に対する防止対策を講じてください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数など

使用量、使用回数、使用期間などは、あなたの年齢、症状や体重に合わせて医師が決め、医療機関において注射されます。

		1回量 [ペラミビルとして]	使用回数、使用期間
成人	通常	300 mg	15分以上をかけて単回点滴で静脈内に注射します。
	重症化するおそれのある場合	1日1回、600 mg	15分以上をかけて単回点滴で静脈内に注射します。
小児	通常	1日1回、体重1 kgあたり10 mg (最大600 mgまで)	ただし、症状に応じて連日反復して静脈内に注射することがあります。

- ・この薬は、インフルエンザ様症状があらわれてからできるだけ速やかに（48時間以内に）使用が開始されます。
- ・繰り返し注射は、体温などの症状から継続が必要と判断された場合に行われます。なお、3日間以上継続して注射した経験は限られています。
- ・腎機能障害のある人では、腎機能の低下に応じて使用量が調節されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・肝機能障害や黄疸があらわれることがあります。この薬の使用直後から肝機能検査が行われることがあります。
- ・この薬の使用または使用後に、ショックやアナフィラキシーがあらわれることがあります。血圧低下、顔面蒼白、冷や汗、呼吸困難、じんましんなどの症状に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用したことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
白血球減少、好中球減少 はつけっきゅうげんしょう、こうちゅうきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がない、尿量が減る
異常行動 いじょうこうどう	異常行動、急に走り出す、徘徊する、普段と違うとつぴな行動をとる

同類薬（抗インフルエンザウイルス薬）であらわれる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあらわれる可能性があります。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
肺炎 はいえん	悪寒、発熱、咳、痰がでる、息切れ
劇症肝炎 げきしょうかんえん	発熱、意識がなくなる、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、判断力の低下
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえし ゆうかいしょう (テン)	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス - ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇と口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
精神・神経症状 (意識障害、譫妄、幻覚、妄想、痙攣等) せいしん・しんけいしょうじょう (いしきしょうがい、せんもう、げんかく、もうそう、けいれんとう)	意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思い込み、非現実的なことを強く確信する、けいれん
出血性大腸炎 しゅっけつせいだいちょうえん	激しい腹痛、下痢、血が混ざった便

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、悪寒、発熱、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、高熱、からだのむくみ、疲れやすい、けいれん
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる、頭痛
顔面	血の気が引く、ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼がはれぼったい
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、のどの痛み、吐き気、嘔吐、咳、痰がでる、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、吐き気
腹部	吐き気、食欲不振、激しい腹痛
手・足	羽ばたくような手のふるえ、関節の痛み
皮膚	じんましん、かゆみ、皮膚が黄色くなる、赤い発疹、中央にむ

部位	自覚症状
	くみをともなった赤い斑点、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、あおあざができる、皮下出血
便	下痢、血が混ざった便
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、尿がでない、尿量が減る
その他	判断力の低下、異常行動、急に走り出す、徘徊する、普段と違うとっぴな行動をとる、陰部の痛み、出血が止まりにくい、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思い込み、非現実的なことを強く確信する

【この薬の形は？】

販売名	ラピアクタ点滴静注液 バッグ 300 mg	ラピアクタ点滴静注液 バイアル 150 mg
性状	無色澄明の液（注射剤）	
形状	バッグ 	バイアル 

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ラピアクタ点滴静注液 バッグ 300 mg	ラピアクタ点滴静注液 バイアル 150 mg
有効成分	ペラミビル水和物	
添加物	塩化ナトリウム、注射用水	

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：塩野義製薬株式会社

(<http://www.shionogi.co.jp/>)

医薬情報センター

電話：0120-501-074

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）